

環境にやさしい循環型農業を実践し 安心安全な、おいしい牛肉生産に 取り組む

農業は必ず 利益を出せる

「農業も事業である以上、継続していかなくてはならず、そのためには利益が絶対的に必要です。」そう語る松永和乎社長には、農業経営者としての強い自負があります。畜産に限らず、一般的に農業は儲けからなくても言い訳しやすい産業なのだと思います。

株式会社松永牧場は、松永社長の就任以来30年間、BS E問題や口蹄疫など様々な問題があったにも関わらず、一度も赤字になったことはありません。農業に関わる人口は多いものの、農業をビジネス的にとらえ、事業展開を考えられる経営者は決して多くありません。そんな業界の中で、「農業は必ず利益を出せる」と言い続ける松永社長はかなり異色の存在。先代が個人経営していた牧場を、「法人化」を条件に引き継いだというのもマネジメントを重視する松永社長らしいエピソードと言えるでしょう。

畜産は、特に長期的視点で取り組んでいかなければならぬ業界です。事業を開始してから代金を回収するまで、およそ5年もかかってしまいます。そのため畜産は農業の中でも特に経営センスが問われるにも関わらず、今の日本の畜産農家の多くは、常に品評会で賞のとれる和牛を作ろうとして、効率性を後回しにしてきました。そのため、独自性が不足しているのではないかと、そう感じている松永社長は、自社の戦略を業界の常識にとらわれることなく、常に合理的な判断のもとに導き出しています。環境対策と収益アップを両立させた牛フンの堆肥化、専任の獣医師を一般的な水準より高く配置することで日常の健康管理体制を充実させています。酪農牧場との一体経営によるトータルコストの削減など、新たな手法を次々に実現させていく松永社長が求める人材は、任せられた仕事をしっかりとこなし、部門のリーダーとなる人です。入社後は、先輩から仕事を学びながら様々な部門を経験させることで、牧場全体の業務を学べるようにしています。松永社長のもと、ビジネスとしての農業、経営とし

ての農業を身につけることができます。また、牧場をやりたいと思っただけから始めても、利益を出せるようになるのは極めて大変な事です。松永牧場では、真剣に牧場を経営したいと考える人であれば、将来的に様々な支援をすることも出来ます。早い人で10年程度経験を積めば、利益が出せるような設備や体制については会社が整備して牧場経営を任せることも検討しています。

あつてよかったと 思われる牧場に！

安心安全な牛肉の生産にまい進してきた松永牧場。その思いは消費者にもしっかりと届き、有名な通販サイトで牛肉部門の第1位を獲得するなど、高い評価を受けるようになりつつあります。「畜産はどちらかと言うと地元からは嫌われる産業。それをこの地域にあつて欲しい、あつてよかったと思える産業にしたいんです。」そう語る松永社長のもと、とにかく安心安全な牛肉を作り続けること、そして異業種を巻き込みながら、環境に配慮して地元との共存共栄を図ることを目指し、これからも畜産の未来を切り開いていきたいと考えています。



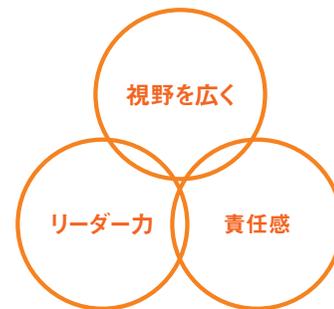
EPOCH EPISODE 私の転機

授精担当
三輪佳恵

命とのふれあいの中で、 日々やりがいを感じています。

とにかく生き物が好きで、この仕事を選びました。入社前に思っていたほど、汚いとか臭いということはありませんでした。畜産は年中休みがないところも多いと思いますが、会社組織のためお休みもしっかりとれています。就業時間は基本的には朝8時から午後5時までですが、業務の都合上、不規則になることも多いです。出産があるとお昼休みがなくなる場合もあります。牧場での作業には、些細な事でも全てに意味があります。私自身、母牛の変化を見逃して子牛を死なせてしまった経験もありますので、後輩を指導する際には、なぜこの作業をするのか、という理由までしっかり伝えるようにしています。今は授精業務を担当しています。毎日のように子牛が生まれる部署ですが、「命が生まれることの喜びと感動」は決して慣れることはなく、毎回新鮮に感じています。単に生き物がかわいいばかりでは続けていけない面もありますが、嬉しいことや楽しいことも沢山あるので、これからもがんばりたいと思います。

【重視している人材育成ポイント】



代表取締役社長 松永和平

■ 学生から見た魅力

生き物が好きな人には魅力的に感じるかもしれませんが、単に好きだけでは続けられない一面もありそうで、覚悟が必要かもしれません。肥育だけでなく、酪農やジェラート店などのいわゆる6次産業まで幅広い業務を行っているので、自分がやる気になって努力できれば、牧場経営に関する多くの仕事を任せてもらえる「可能性あふれる職場」という印象です。仕事上の目標設定さえ自分なりにしっかり出来れば、満足度が高くなるのでは、と感じました。

企業 DATA

資本金●1,194万円
従業員数●22名(平均年齢33歳)
設立●1973年8月29日
売上高●23億3,436万円
事業内容●肉用牛の繁殖、肥育
初任給(基本給)●月給 大卒18万円
短大卒16万円
高卒 14万円
保険●雇用・労災・健康・厚生年金保険
福利厚生●昇給年1、賞与年2、退職金制度、リフレッシュ手当
休日休暇●4週6休、リフレッシュ休暇、有給休暇

連絡先

〒699-3504 島根県益田市種村町イ1780-1
TEL.0856-27-1341
URL.http://www.matunaga-gyu.com/



最近の雇用状況 (30歳未満の若年雇用者)		22年度	23年度	24年度
採用人数		1	2	2
離職者数		1	0	1